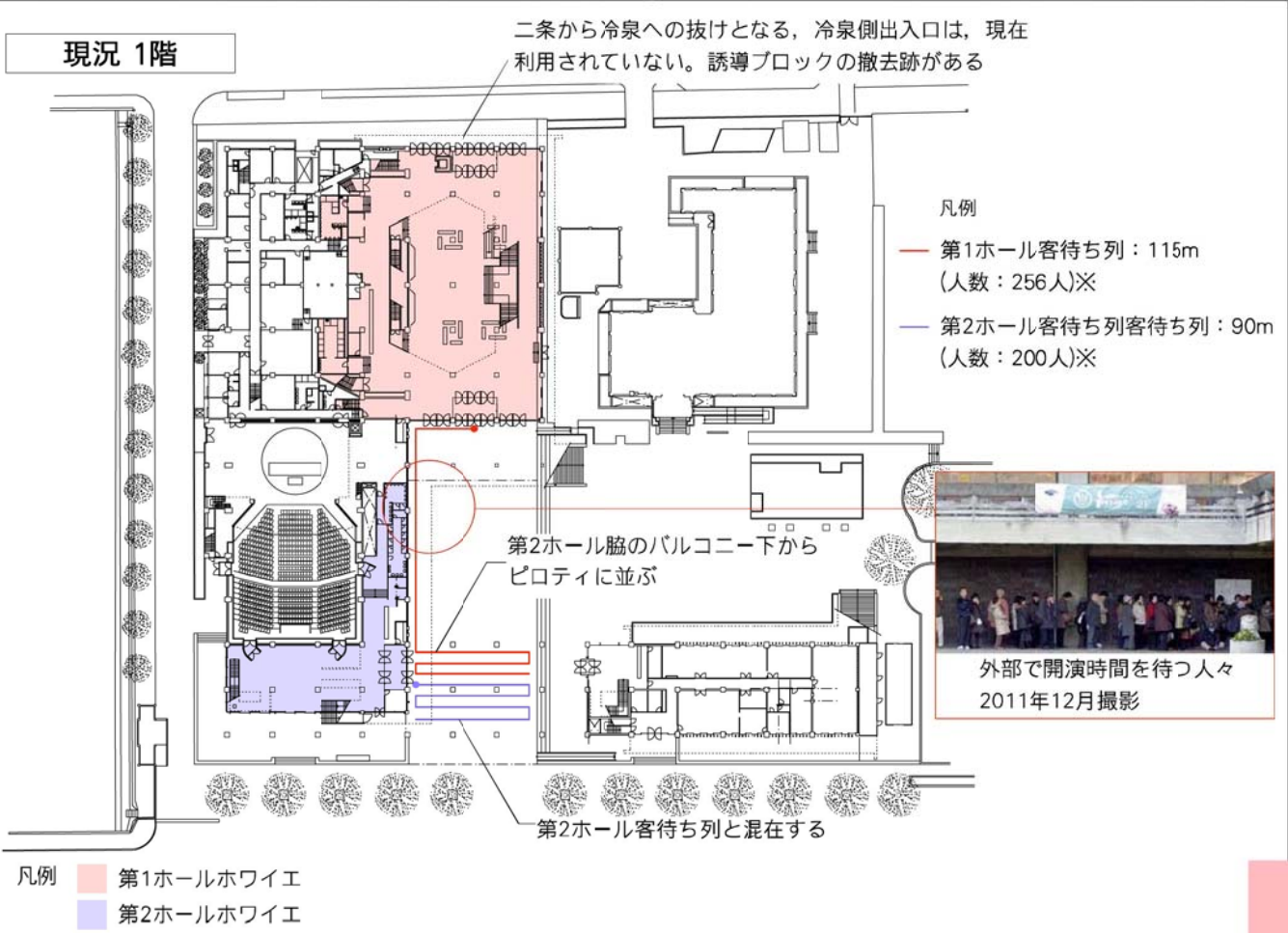


共通ロビー内部の待ち列及び動線について
既存躯体と意匠を活かしつつ「おおやけ」に開かれた新しい内部空間をつくる

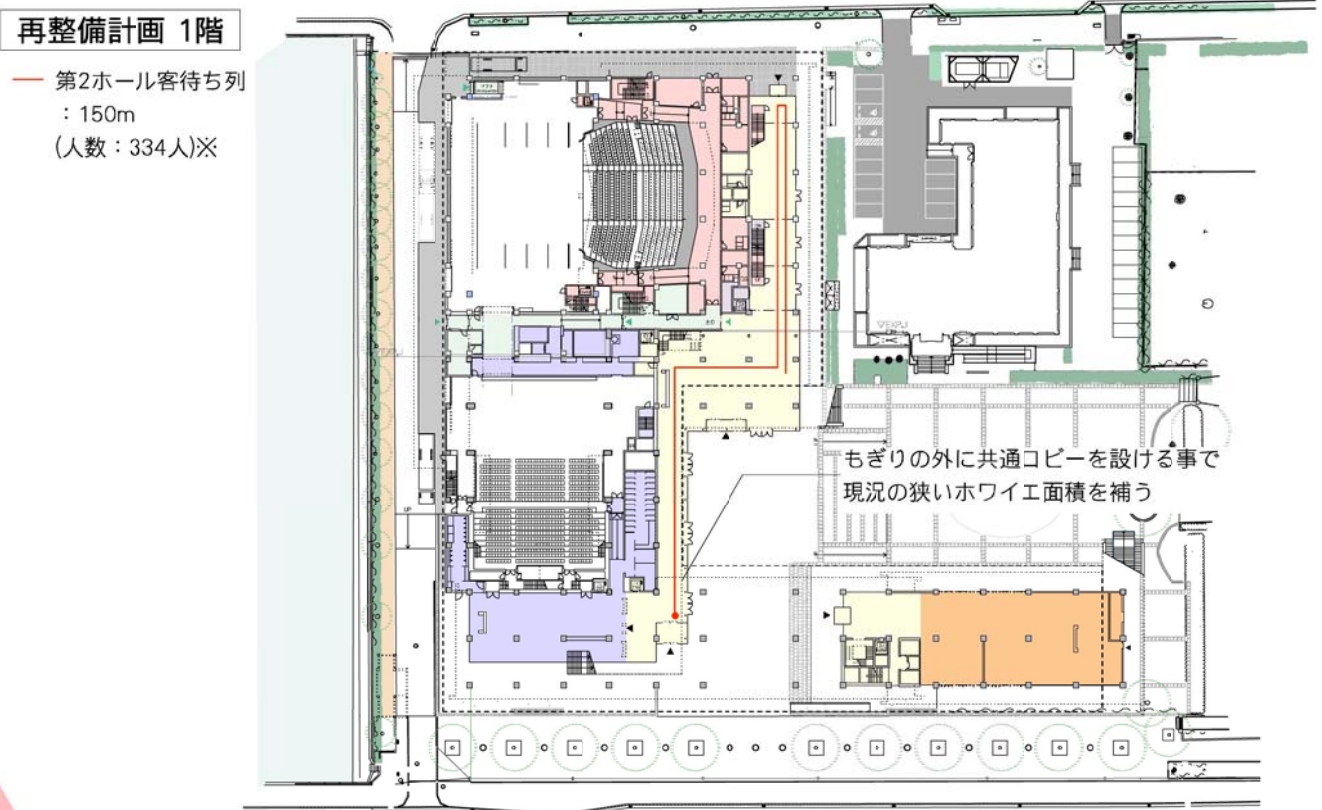


- ・酷暑酷寒下での外部客待ち列を、内部空間をつくることで解消する。かつ、第2ホールと同時刻開演にも対応する。
- ・公演のない時でも、チケットを持たなくても、気軽に訪れ芸術文化にふれ、時を過ごすことのできる公共建築としての場所を設ける。
- ・中庭や岡崎公園と連続し、外部空間からの休憩スペースとしても利用出来る。

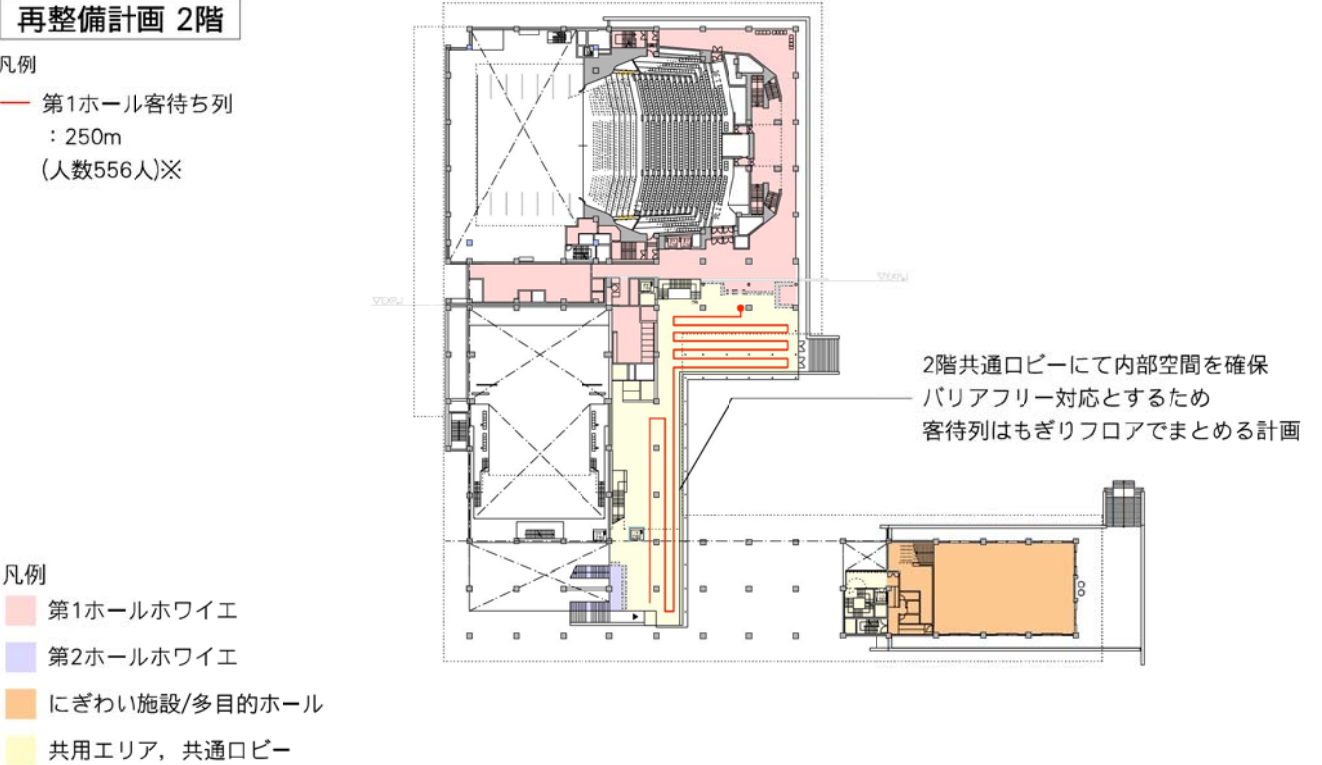


2階バルコニーは二条通りからもアクセス出来るが、休日やカフェ営業時間でも人の気配はない。
現況バルコニー幅が3m以上あるものの、人を招き入れたり、佇んだりする場所にはなっていない。

1階の共通ロビー（バルコニー下空間の内部化）によって、第2ホールの客待ち空間を改善



2階の共通ロビー（バルコニー空間の内部化）によって、第1ホールの客待ち空間を改善

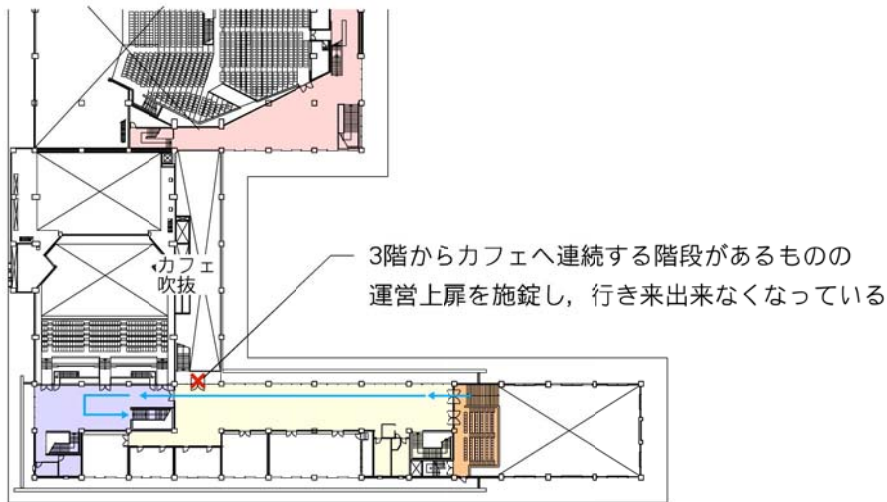


※客待ち列人数=[客待ち列長さ(m)÷前後間距離(0.9m)×2人]で算出

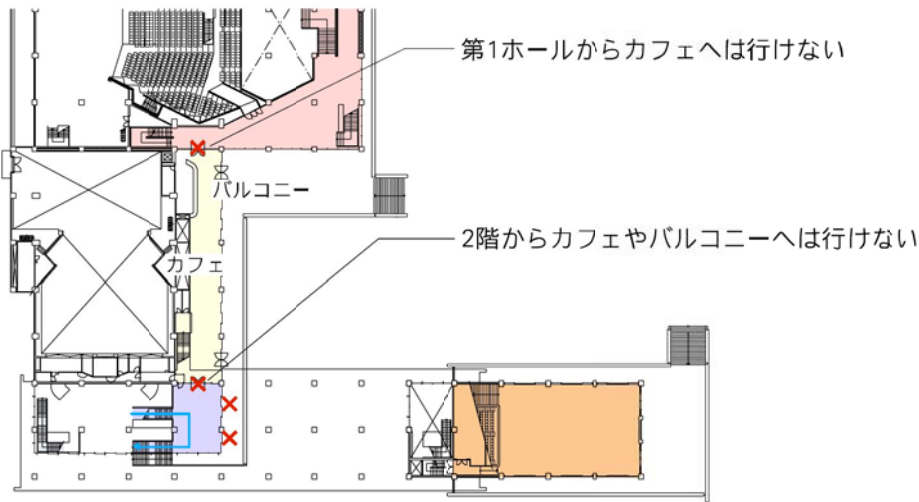
共通ロビー内部の待ち列及び動線について

全館貸出時（第1ホールで公演、第2ホールと会議場を公演前練習場）第1ホールへの動線を改善，京都会館全体をひとつにつなげる
会議棟から第1ホールに移動する際、第2ホールの舞台袖を通過せざるをえなかったが、再整備後は第2ホールを通過せずに移動が可能となる。

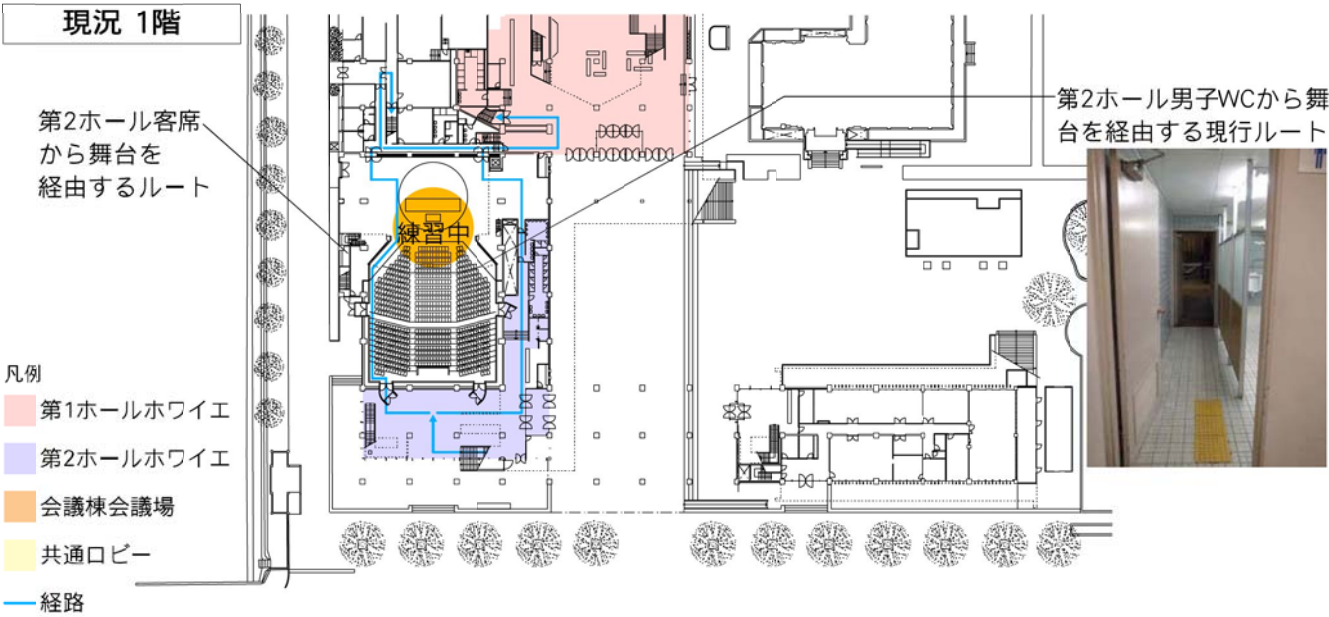
現況 3階



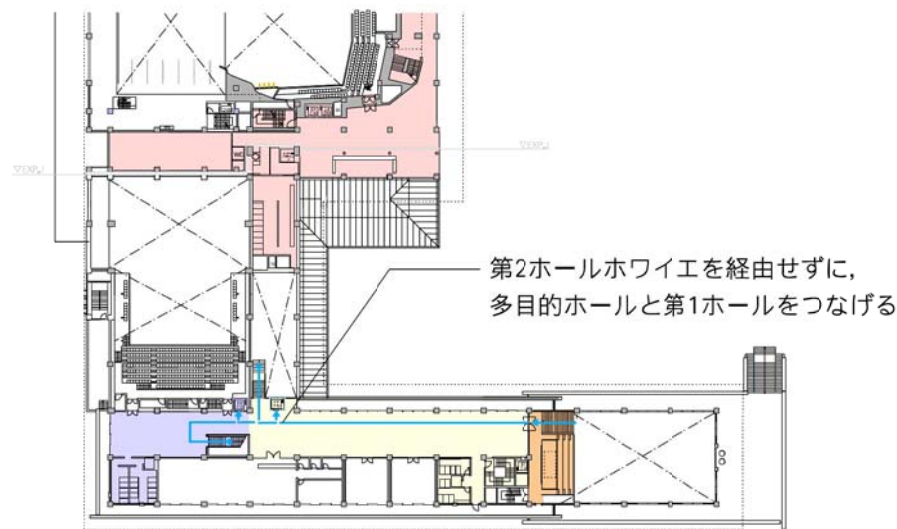
現況 2階



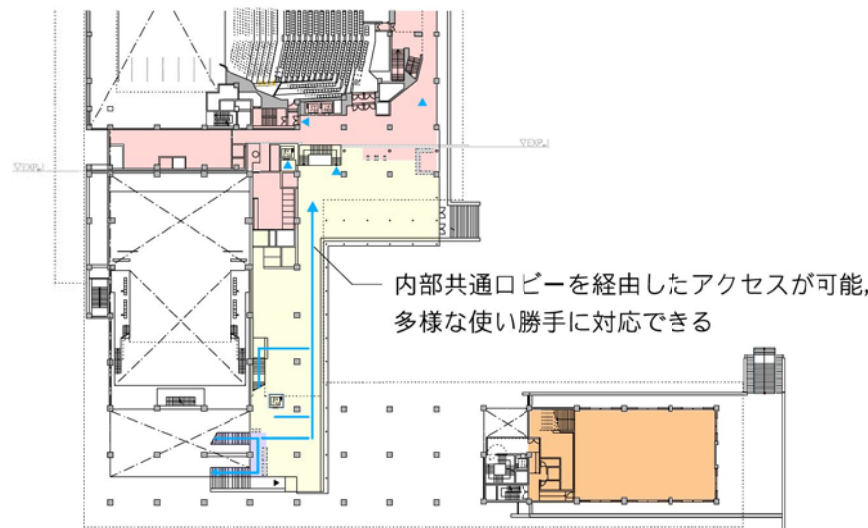
現況 1階



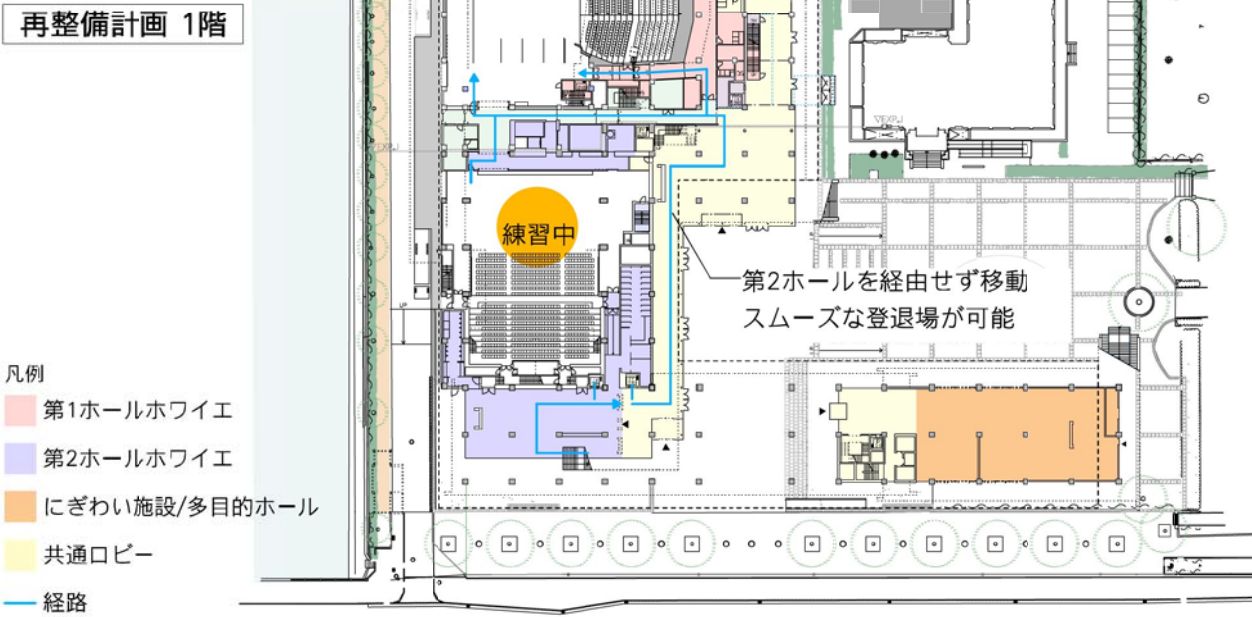
再整備計画 3階



再整備計画 2階



再整備計画 1階



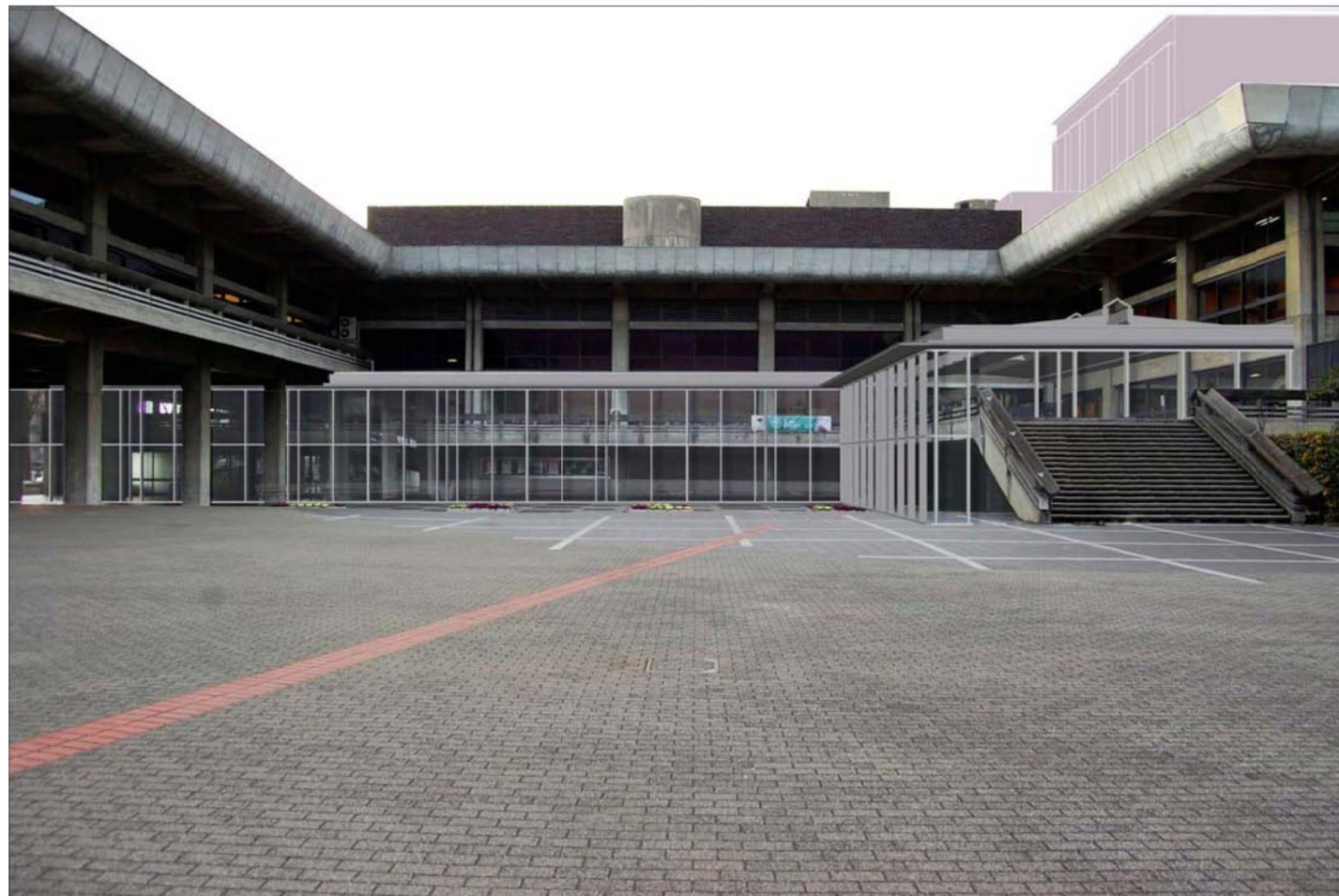


□既存躯体への影響の軽減

ガラスによって既存躯体を「覆う」断面とすることでバルコニー躯体へ荷重をかけない改修とする。

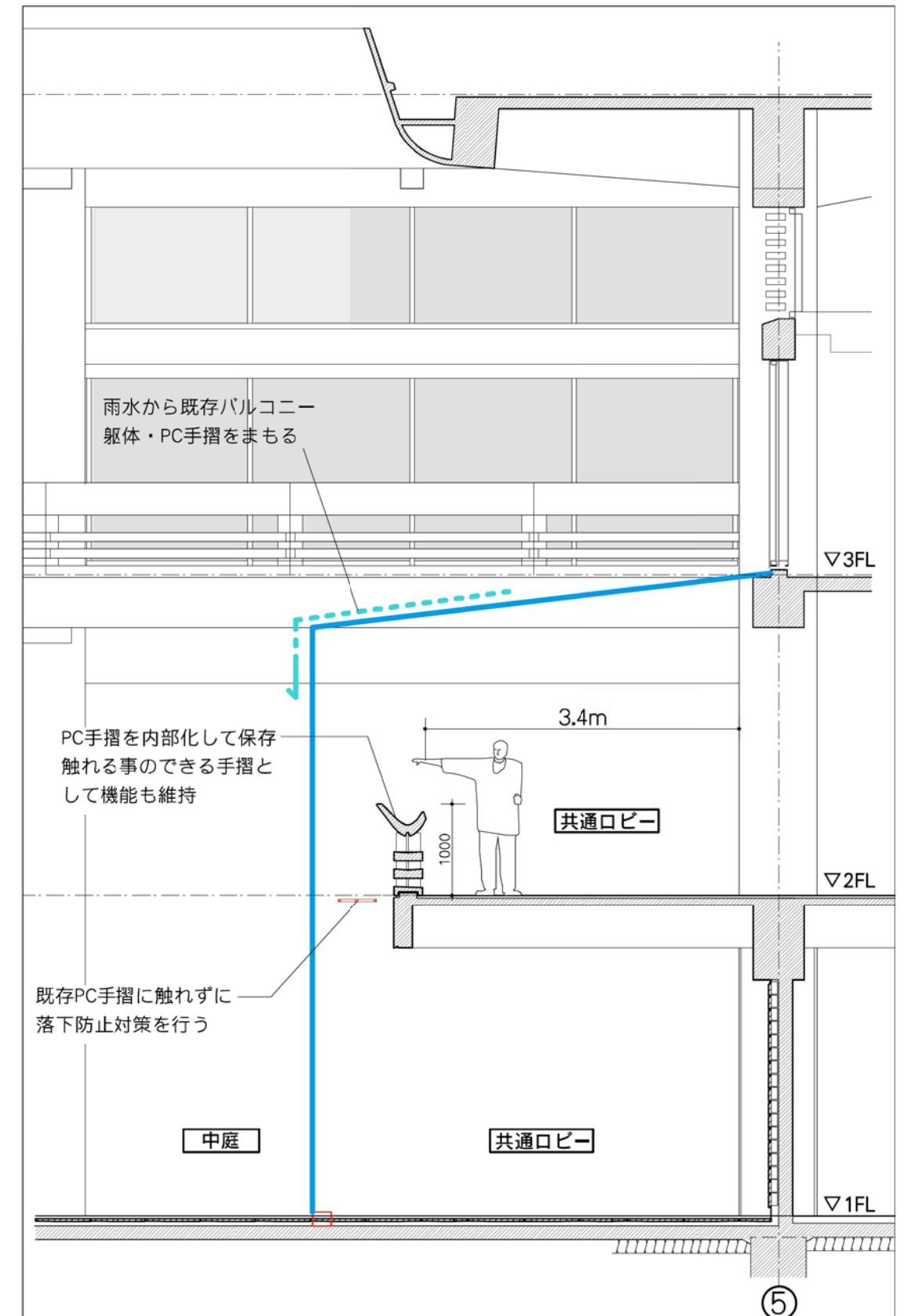
□PC手摺・躯体の保護

他の箇所に比べて劣化が進行しているため、内部化することでPC手摺を保護する。



中庭東側から

パース検討



断面検討